

新型コロナウイルス感染症の予防接種を受ける方へ（説明書）

～よく読んでから予診票を記入しましょう～

1. 新型コロナワクチンについて

このワクチンは新型コロナウイルス感染症の発症を予防するものです。ワクチン接種後も基本的な感染予防対策（マスク着用、密集、密接および密閉の回避、手洗いや咳エチケット等）を必要に応じて行ってください。

2. 予診票の記入について

予診票は予防接種を受けるにあたって、医師にご自分の健康状態を伝える大切な用紙です。内容をよく読み、治療中の病気や飲んでいる薬など、もれがないように記入しましょう。

また、心配なことがある場合は医師に十分相談しましょう。予診票の下にあるご本人の署名は、医師の診察の結果を聞いてから記入します。

3. 予防接種を受けることができない方（予防接種不適合者）

- 明らかな発熱がある方（37.5℃以上）
- 重篤な急性疾患にかかっている方
- 予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある方
- その他医師から不適当な状態であると判断された方

4. 新型コロナウイルス感染症予防接種の副反応

- 注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等が現れることがあります。また、重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーが現れることもあります。なお、このワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状があった場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。
- ワクチン接種後に心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されています。接種後数日以内に胸の痛みや動機、息切れ、むくみ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。

5. 予防接種後の注意

- 予防接種を受けた後30分間は急な副反応がおこることがあります。医師とすぐに連絡を取れるようにしましょう。（注射後24時間は体調に注意しましょう）
- 入浴は差し支えありません。注射した所を清潔にし、強くこすることはやめましょう。
- 接種当日はいつもの生活をしてかまいません。激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

6. 新型コロナワクチンと他のワクチンとの関係

医師が特に必要と認めた場合は、新型コロナワクチンはインフルエンザワクチンを含めた他のワクチンと同時接種も可能です。医師にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症の予防接種により重篤な健康被害が発生した時には、予防接種法により健康被害の救済が行われます。給付申請の必要が生じた場合には、診察した医師、お住まいの市区町村の予防接種担当課へご相談ください。

小郡市 令和8年8月